



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

2019年7月25日（木）
労働政策フォーラム資料

「就職氷河期世代」の全体像を把握する
— 平成29年版「就業構造基本調査」の二次分析から —

労働政策研究・研修機構
主任研究員 堀 有喜衣

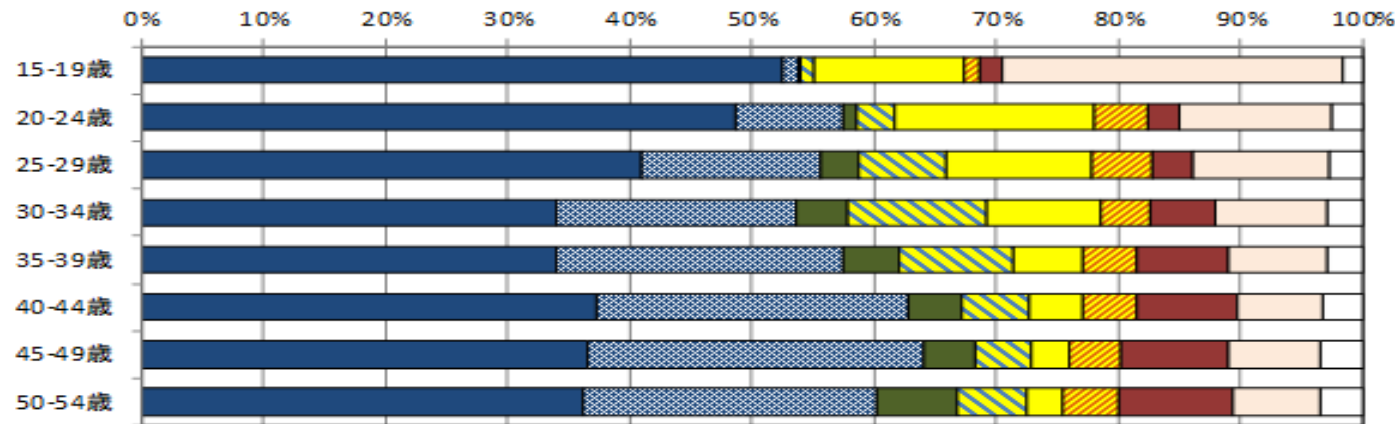
主な知見

- 職業キャリアは「就職氷河期」にあたる世代において不安定であり、「後から正社員」は収入が低い。
- 「就職氷河期世代」において、フリーターから正社員への移行は進んだ。ただし今でも「就職氷河期フリーター」は一定数残っており、転職希望は低い。
- 非求職無業者（ニート）数は景気循環とはあまり関係がなく、「就職氷河期世代」が求職活動しない主な理由は「病気・ケガ」が主。
- ニートの年齢が上昇すると世帯主の年齢が上昇、主たる収入が年金などになり、収入額も減少。

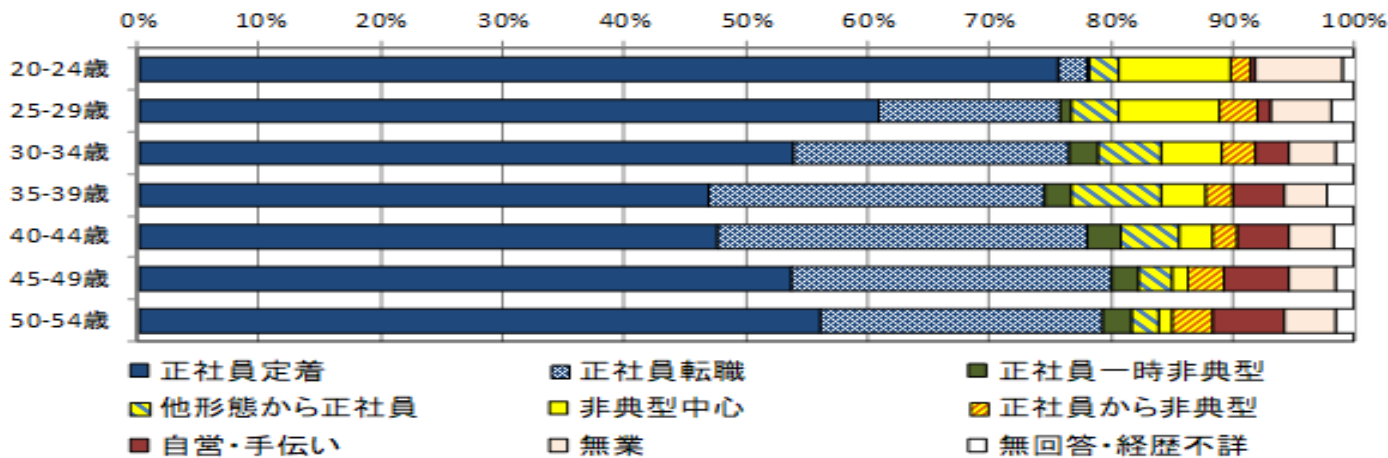
「就職氷河期世代」：政策的には、1993～2004年に卒業を迎えた世代とされることが多い。本調査においては、大卒者では調査実施時に概ね35－46歳、高卒者では31－42歳。

職業キャリア（男性）：「高卒30－34歳」「高卒35－39歳」「大卒35－39歳」「大卒40－44歳」において「正社員定着」割合低く、「他形態から正社員」多い

③男性・高卒(図)



④男性・大卒(図)

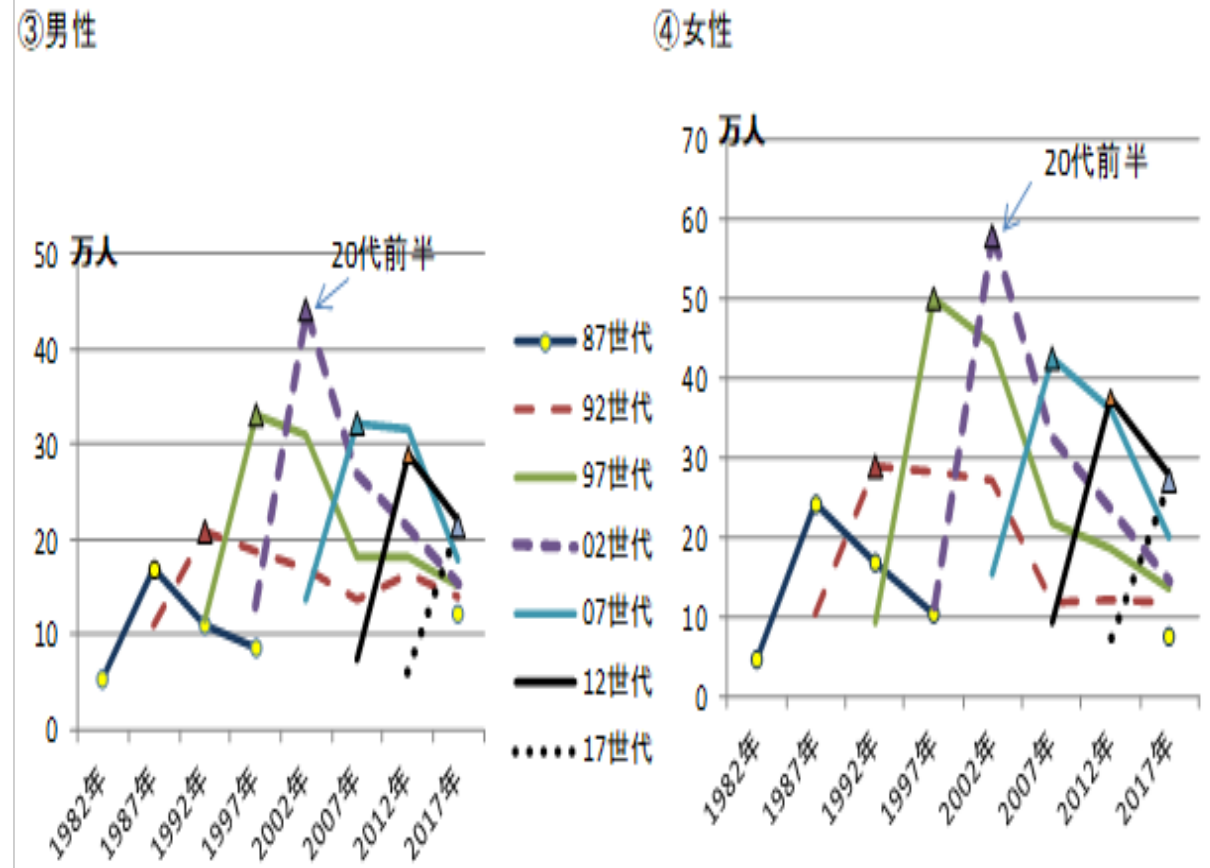
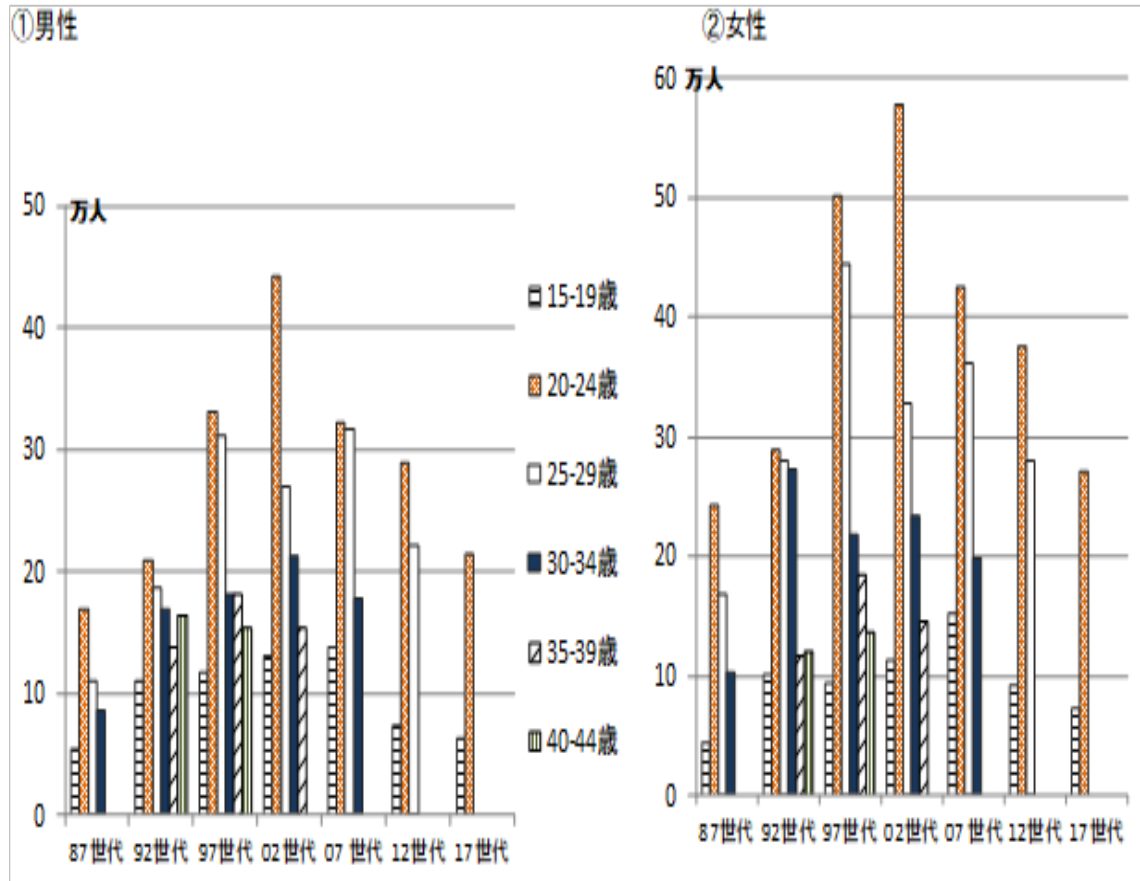


正社員のキャリア別労働時間・収入
(在学中を除く、実測値) 35－44歳

就業形態		男性		
		週労働時間 (時間)	年収 (万円)	時間当たり収入 (円)
正社員定着	平均値	47.4	530.7	2,575
	N(人)	25,258	25,581	25,129
正社員転職	平均値	47.8	453.6	2,180
	N(人)	16,709	16,910	16,654
正社員一時非典型	平均値	47.7	380.5	1,817
	N(人)	2,266	2,306	2,257
他形態から正社員	平均値	47.9	400.7	1,904
	N(人)	4,012	4,083	3,997
合計	平均値	47.6	484.5	2,338
	N(人)	49,284	49,906	48,959

注：ウエイトバック前の実測値による。
週労働時間は、「だいたい規則的に」または「年間200日以上」働いている場合のみ。
時間当たり収入は年収 / (週労働時間 × 50週) で求めた。

「就職氷河期フリーター」数の推移（疑似コーホート）



フリーターの定義：15-34歳、非在学、女性は未婚者、有業者については呼称がパートかアルバイト、無業者は家事も通学もしておらずパート・アルバイトの仕事を希望する者。ただしここでは調査時35-44歳で同定義にあてはまるものを「就職氷河期フリーター」と呼んでいる。

過去1年間に非典型雇用から離職した者の性・年齢段階別正社員移行率

(15～44歳、在学中を除く、実測値)

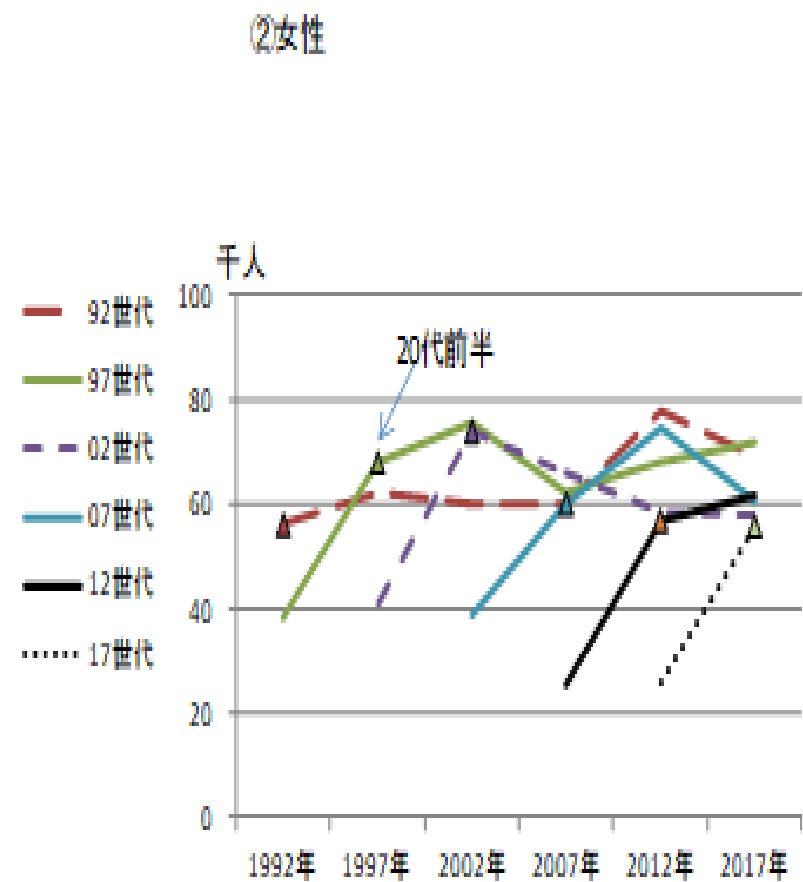
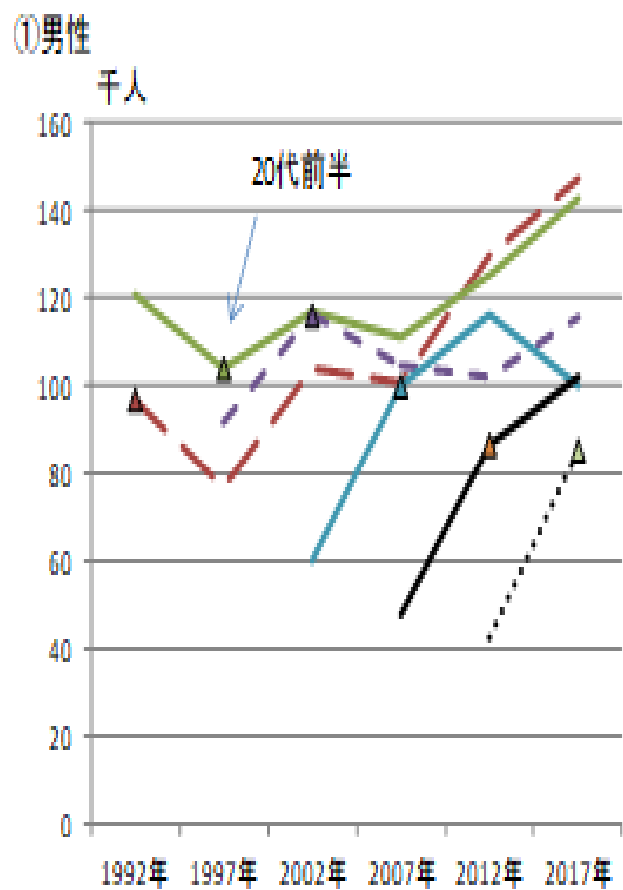
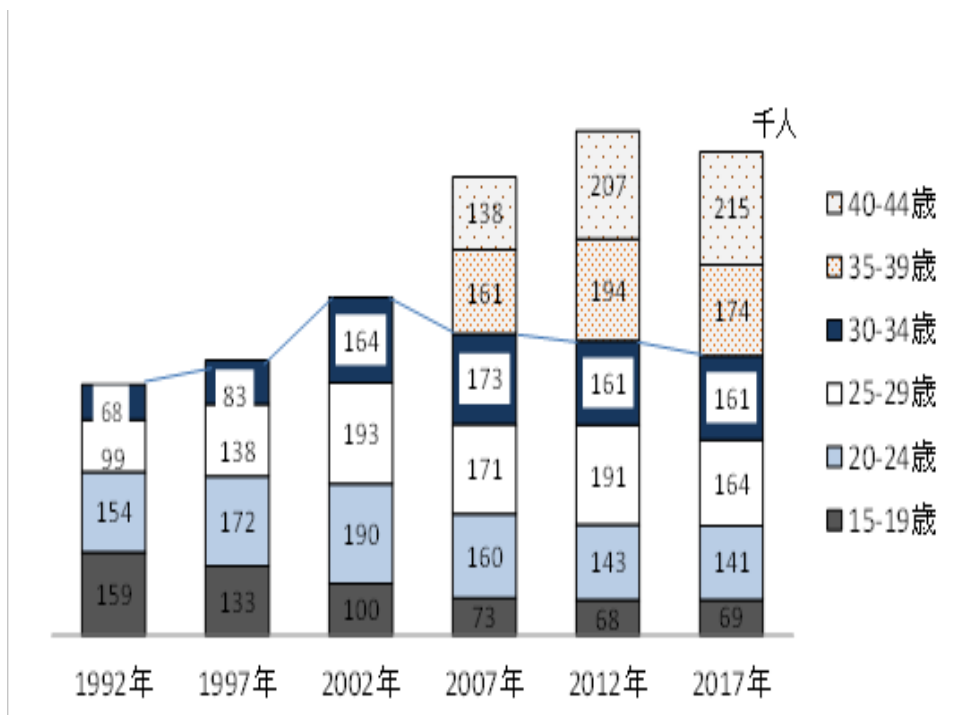
	2017年調査		2012年調査	2007年調査
	非正規職 離職者計 (人)	構成比	正社員移 行率	正社員移 行率
非典型雇用離職者計(男女計)	15,705	100.0	20.9	16.1
15-19歳	348	2.2	29.9	16.4
20-24歳	2,364	15.1	32.7	21.9
25-29歳	3,081	19.6	25.5	18.3
30-34歳	3,198	20.4	18.1	13.0
35-39歳	3,197	20.4	15.5	10.9
40-44歳	3,517	22.4	15.6	10.2
男性 計	4,035	100.0	35.0	25.7
15-19歳	161	4.0	37.3	15.7
20-24歳	913	22.6	38.4	28.3
25-29歳	987	24.5	40.1	29.3
30-34歳	782	19.4	34.3	26.3
35-39歳	608	15.1	29.8	21.3
40-44歳	584	14.5	27.1	20.6
女性 計	11,670	100.0	16.0	10.7
15-19歳	187	1.6	23.5	17.1
20-24歳	1,451	12.4	29.1	18.1
25-29歳	2,094	17.9	18.6	12.3
30-34歳	2,416	20.7	12.9	8.4
35-39歳	2,589	22.2	12.2	8.2
40-44歳	2,933	25.1	13.3	7.8

年齢段階別フリーターの就業継続・転職希望
(有業者のみ)

	合計(N)		この仕事を 続けた い	この仕事 のほか に別の 仕事もし たい	他の仕 事に 変 わり たい	仕事を す つ か り や め て し ま い たい	不詳
	(千人)	(%)					
男性 15-19歳	43.2	100.0	55.0	18.5	18.5	4.0	3.9
20-24歳	201.9	100.0	43.8	18.3	33.1	2.5	2.3
25-29歳	210.5	100.0	43.9	17.8	33.4	3.8	1.1
30-34歳	162.9	100.0	46.9	13.3	35.1	3.7	1.0
(35-39歳)	139.2	100.0	54.7	16.9	24.3	2.4	1.6
(40-44歳)	134.2	100.0	54.2	14.5	25.3	3.6	2.4
(45-49歳)	115.1	100.0	56.0	14.5	24.8	2.8	2.0
女性 15-19歳	42.2	100.0	55.7	18.8	22.7	2.2	0.6
20-24歳	255.1	100.0	51.4	17.5	26.0	3.7	1.4
25-29歳	260.5	100.0	53.1	14.2	27.0	4.7	1.0
30-34歳	182.7	100.0	57.2	14.9	24.3	2.5	1.2
(35-39歳)	131.4	100.0	63.4	12.6	21.2	2.1	0.7
(40-44歳)	124.4	100.0	64.5	12.7	17.2	3.6	1.9
(45-49歳)	109.4	100.0	63.4	12.1	20.2	2.9	1.4

注：背景がグレーの数値は、2012年調査に比べて5%ポイント以上の減少、太字下線は5%ポイント以上の増加を示す。45～49歳は、2012年調査については集計していないため、比較はできない。

非求職無業者（ニート）数の推移（疑似コホート）



注:「非求職無業者」は、無業者のうち求職活動をしていない者で、卒業者かつ通学しておらず、配偶者なしで家事をおこなっていない者。

35歳 - 44歳 非求職無業者 38.9万人

就業希望あり
(16.4万人)

就業希望なし
(22.1万人)

	合計		求職活動をしない理由									
	(%)	実数 (千人)	探した が見つ からな かった	希望す る仕事 がありそ うにない	知識・能 力に自 信がな い	出産・育 児のた め	介護・ 看護の ため	病気・け がのた め	通学の ため	学校以外 で進学や 資格取得 などの勉強 をしている	急いで仕 事につく 必要がな い	その他
35-44歳計	100.0	116.7	8.9	3.4	9.0	0.0	1.2	43.8	0.1	3.1	5.7	23.6
男性 (35-39歳)	100.0	56.6	10.1	2.6	13.2	0.0	0.3	38.5	0.2	3.5	6.5	24.8
男性 (40-44歳)	100.0	60.1	7.8	4.2	5.1	0.0	2.0	48.8	0.0	2.7	4.9	22.6
男性 (45-49歳)	100.0	62.1	7.0	5.4	5.6	0.0	2.9	54.1	0.0	1.8	3.6	18.3
女性 35-44歳計	100.0	47.3	5.0	2.4	4.4	2.1	1.8	61.8	0.0	1.8	2.6	17.5
女性 (35-39歳)	100.0	24.0	3.4	2.6	3.6	4.1	0.7	64.6	0.0	2.6	1.0	17.1
女性 (40-44歳)	100.0	23.3	6.5	2.1	5.2	0.1	3.0	58.9	0.0	1.0	4.2	17.8
女性 (45-49歳)	100.0	22.0	2.6	3.0	3.9	0.8	3.7	55.2	0.0	3.4	2.0	22.5

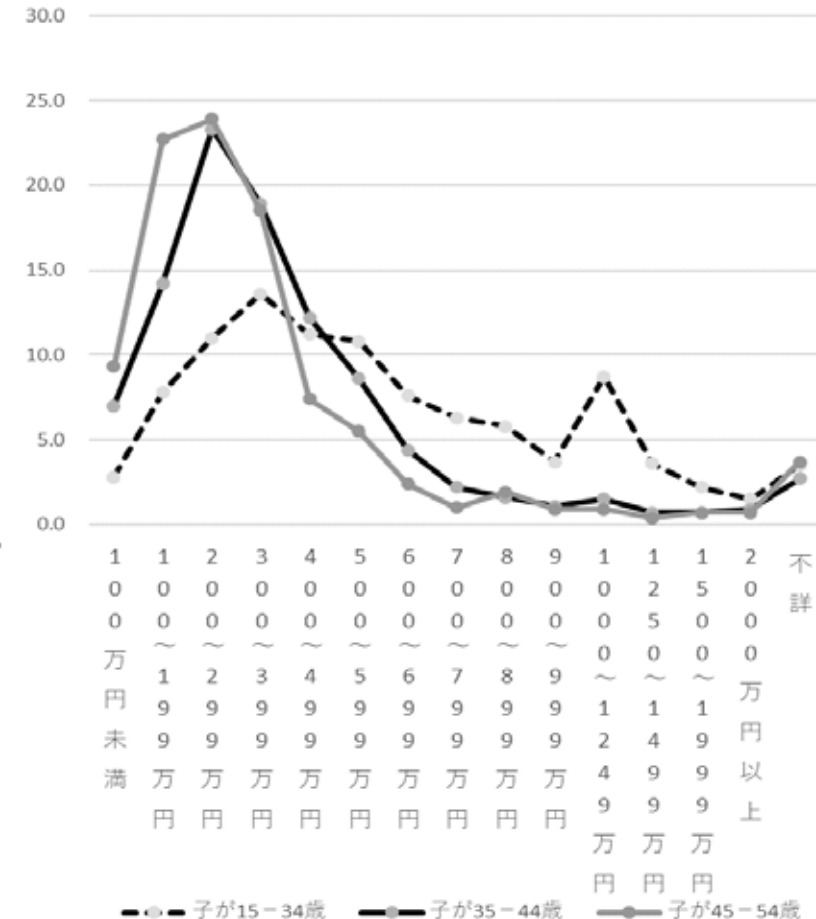
	合計		就業を希望しない理由									
	(%)	実数 (千人)	出産・ 育児の ため	介護・ 看護の ため	家事(出 産・育児・ 介護・看 護以外) のため	通学の ため	病気・ けがの ため	学校以外 で進学や 資格取得 などの勉強 をしている	ボラン ティア 活動に 従事し ている	仕事を する自 信がな い	その他	特に理 由はな い
35-44歳計	100.0	139.5	0.0	0.9	0.1	0.0	48.0	0.5	0.3	7.6	23.5	18.3
男性 (35-39歳)	100.0	58.6	0.0	0.2	0.0	0.0	46.6	1.0	0.5	8.6	24.5	17.7
男性 (40-44歳)	100.0	81.0	0.0	1.5	0.2	0.0	49.0	0.1	0.1	6.9	22.8	18.7
男性 (45-49歳)	100.0	83.8	0.0	0.9	0.0	0.0	59.6	0.0	0.0	6.0	21.1	11.0
女性 35-44歳計	100.0	81.5	0.0	1.3	0.1	0.0	58.4	1.4	0.4	4.0	21.2	11.1
女性 (35-39歳)	100.0	33.2	0.0	1.5	0.0	0.0	55.1	2.7	0.0	2.7	19.9	12.9
女性 (40-44歳)	100.0	48.3	0.0	1.1	0.2	0.0	60.7	0.4	0.6	4.9	22.1	9.9
女性 (45-49歳)	100.0	46.5	0.0	1.7	1.1	0.2	63.9	0.1	0.0	4.2	17.5	9.8

非求職無業者の年齢が上がると世帯主の年齢も上がり、世帯の収入が減少

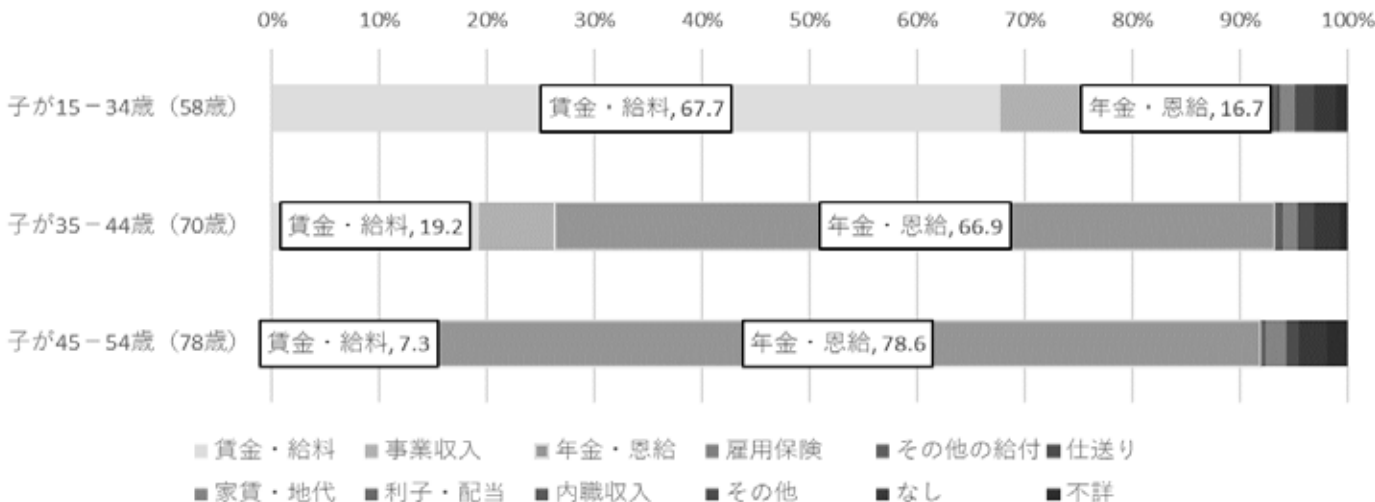
非求職無業者の主な収入の種類（35-44歳）

	合計		賞金・給料	事業収入	社会保障			仕送り	家賃・地代	利子・配当	その他	なし	不詳
	(%)	(千人、N)			年金・恩給	雇用保険	その他の給付						
男性計	100.0	258.7	2.6	0.0	23.5	0.3	8.5	1.3	0.3	1.0	9.4	50.6	2.3
男(うち)													
世帯主	100.0	99.9	3.9	0.0	37.4	0.2	15.6	3.1	0.2	1.2	14.6	20.9	2.8
子	100.0	153.2	1.9	0.0	14.5	0.4	3.9	0.2	0.5	0.9	6.2	69.5	2.1
女性計	100.0	130.0	2.4	0.1	30.3	0.8	15.3	1.1	0.1	0.3	12.0	35.0	2.7
女(うち)													
世帯主	100.0	59.0	2.0	0.2	38.4	0.3	23.0	2.2	0.3	0.1	19.4	12.3	1.9
子	100.0	67.9	2.9	0.0	24.0	1.2	8.5	0.3	0.0	0.4	5.8	53.4	3.6

非求職無業者の「子」がいる場合の世帯全体の収入額（%）



世帯主の主な収入の種類：非求職無業者の「子」がいる場合（世帯主平均年齢）



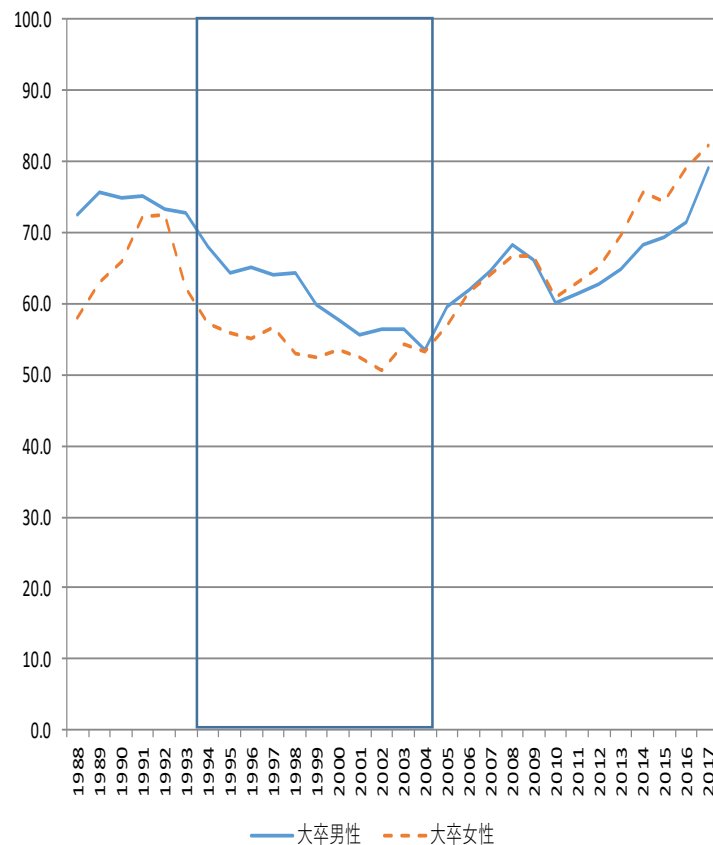
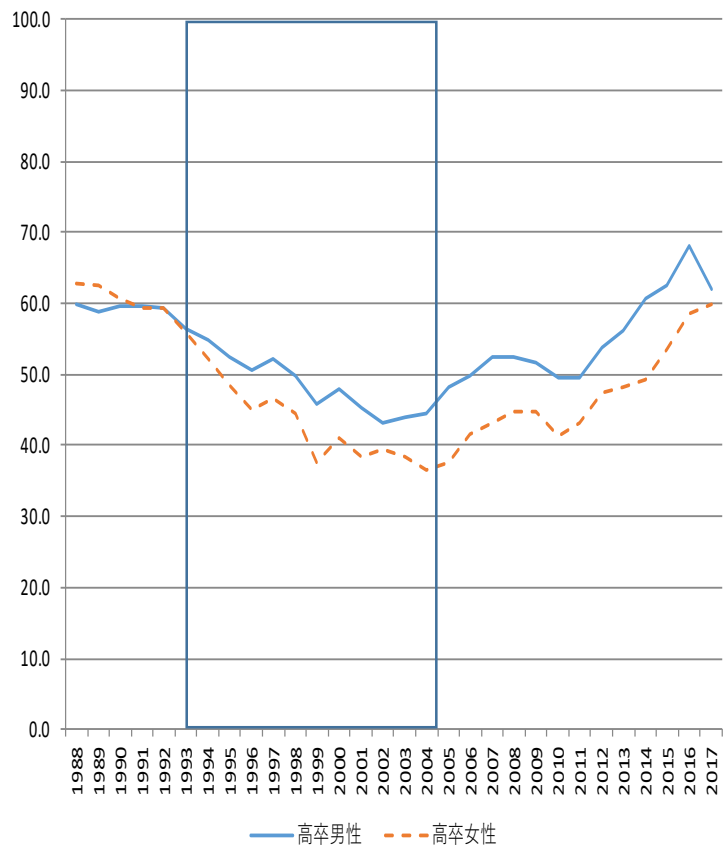
15-34歳層のニート：本人が「子」が75.9%
35-44歳層のニート：「子」である割合は56.9%

「就職氷河期世代」独自の特徴と他世代との共通点

- 「後から正社員」（正社員転職者や非正社員から正社員になった層）の割合が「就職氷河期」では大きい。
- 「就職氷河期フリーター」について、正社員への移行は卒業時に比べるとかなり進んだ。現状でフリーターの場合、正社員化も重要だが、同時に非正規雇用の安定化と質の向上が必要。
- ニートについては福祉との連携、世帯支援。就職氷河期世代は量的に多いので課題は大きいですが、他の世代でも同様に見出され、今後の日本社会において継続的な課題となろう。

※分析結果の詳細は、労働政策研究・研修機構，2019，『若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③ー平成29年版「就業構造基本調査」より』JILPT資料シリーズNo.217.

<参考> 新卒正社員率による 「就職氷河期世代」のカテゴリー化

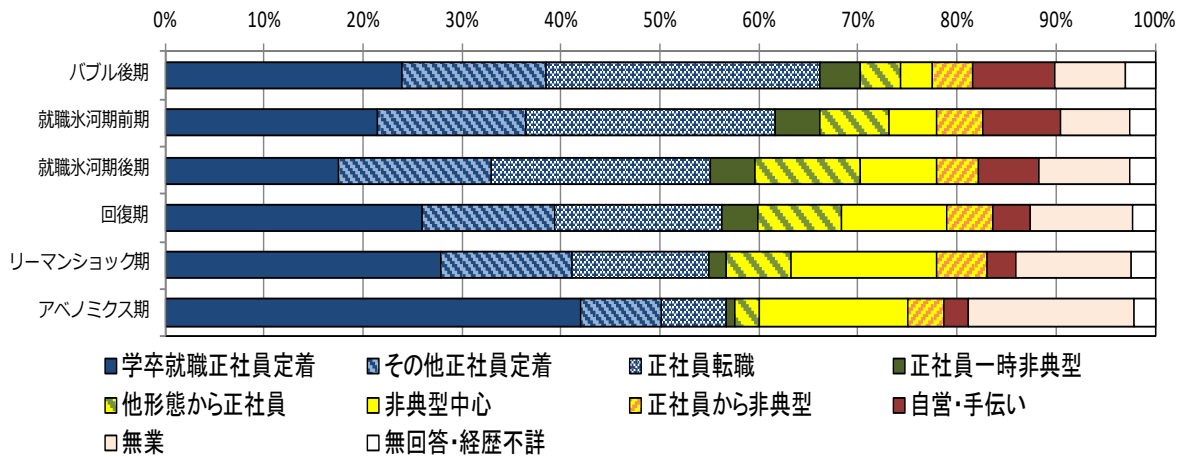


高卒者卒業年	世代名	男性	女性
88年～92年	バブル後期	57.6%	61.5%
93年～98年	就職氷河期前期	49.7%	47.4%
99年～04年	就職氷河期後期	42.1%	35.5%
05年～09年	回復期	48.3%	39.2%
10年～11年	リーマンショック期	48.3%	38.9%
12年～17年	アベノミクス期	56.8%	47.6%

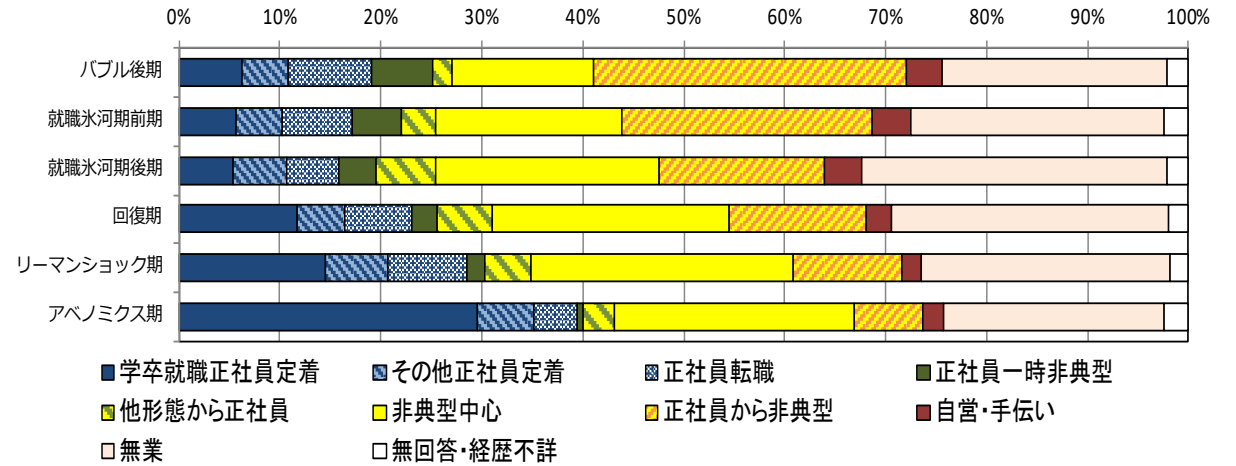
大卒者卒業年	世代名	男性	女性
88年～92年	バブル後期	76.2%	68.6%
93年～98年	就職氷河期前期	67.8%	58.6%
99年～04年	就職氷河期後期	57.4%	54.7%
05年～09年	回復期	66.4%	65.2%
10年～11年	リーマンショック期	63.1%	62.8%
12年～17年	アベノミクス期	70.1%	76.5%

「就職氷河期世代」 内部の濃淡

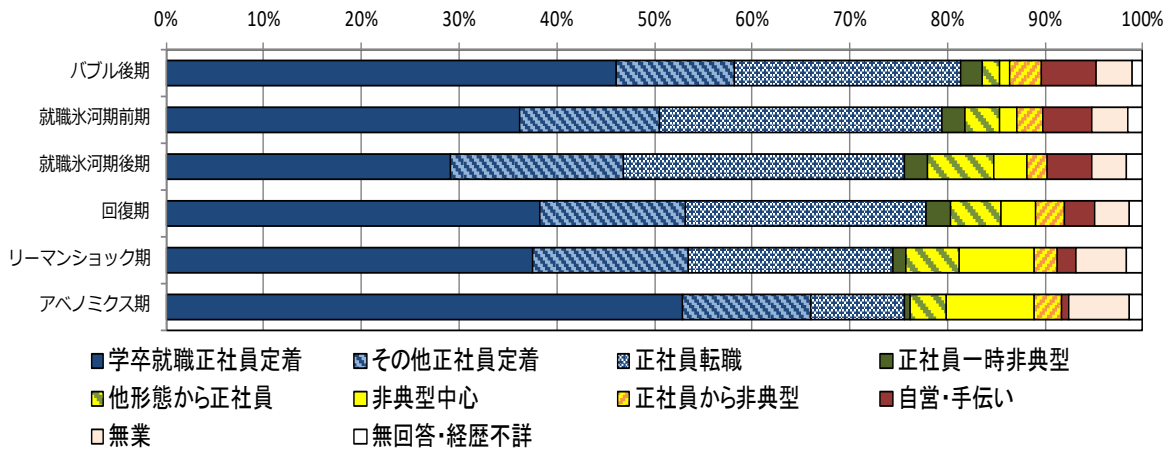
①男性・高卒



③女性・高卒



②男性・大卒



④女性・大卒

